

令和4年度 旭川荘厚生専門学院 学校自己評価

学校法人旭川荘
旭川キャンパス・吉井川キャンパス

I 学校自己評価の基本方針

(1) 目的

医療福祉人材を養成する専修学校として、教育の質の向上と学校運営の改善を目的とする。

(2) 評価項目及び評価手順等

私立専門学校評価機構の専門学校等評価基準書に規定する評価項目に本学独自の評価項目を加え、各項目につき教職員が10段階評価を行い、平均値を学校自己評価報告書(以下「報告書」という。)に記載する。記述項目は学校評価委員会(以下「委員会」という。)が語句等を整理する。

(3) 評価の実施

毎年3月に教職員が評価し、結果を委員会が取りまとめる。

(4) 評価結果

委員会は評価結果を踏まえ、教育活動の質の向上及び学校運営の改善に関する提言を取りまとめ、理事長に報告するものとする。

(5) 公表等

委員長は、評価結果を学校法人理事会・評議員会に報告し、承認を受けなければならない。また、理事会等で承認を受けた報告書をホームページ上で公開するものとする。

II 評価結果

教職員が10段階の自己評価を行った大項目(I~XI)ごとの平均値が次表である。

※評価基準・・・非常に適切(該当)で評価できる・・・	10, 9, 8
まずまず適切(該当)で評価できる・・・	7, 6
やや不適切(非該当)で評価できない・・・	5, 4
非常に不適切(非該当)で全く評価できない・・・	3, 2
論外・・・	1
	平均値 5.5

※集計方法

- ・小項目 教職員の10段階評価の評価値の合計を回答数で除して算出(小数第3位を四捨五入)
(入試広報課の回答は両キャンパスへ反映)
- ・大項目 小項目の平均値で算出(小数第3位を四捨五入)

1) 大項目評価結果

項目	全体	旭川	吉井川
I 教育理念・目的	7.9(7.9)	○ 8.0(8.1)	7.3(7.1)
II 学校運営	7.3(7.5)	7.4(7.3)	7.0(8.9)
III 教育活動	7.6(7.5)	7.6(7.6)	7.1(6.9)
IV 教育成果	7.6(7.6)	7.5(7.6)	7.9(8.1)
V 学生支援	7.6(7.4)	7.7(7.4)	7.2(7.3)
VI 教育環境	■ 6.8(6.6)	■ 6.7(6.5)	7.4(7.2)
VII 学生募集	7.6(8.1)	7.9(8.1)	■ 6.7(7.9)
VIII 財務	■ 6.6(6.9)	■ 6.6(7.0)	■ 6.3(6.6)
IX 法令遵守	7.8(7.8)	7.9(7.8)	7.4(8.1)
X 社会貢献	7.9(7.7)	7.9(7.8)	○ 8.0(6.8)
XI 旭川荘との連携	7.5(7.2)	7.6(7.2)	7.0(7.2)

○：高評価(8.0以上) ■：低評価(6ポイント台) ()は前年度評価値

全体の高評価項目は「教育理念・目的」「社会貢献」(ともに7.9ポイント)で、低評価項目は「財務」(6.6ポイント)、「教育環境」(6.8ポイント)であった。高評価項目の「教育理念・目的」は旭川荘の「敬天愛人」(天を敬い、人を愛する人間尊重の精神)を教育理念に定め、専門職として必要な「知識や技術の修得」と、「豊かな心」と「幅広い教養」を身につけた専門職の養成を図っていることが教職員の間での共通認識として定着しつつあり、高評価に繋がったと考える。旭川荘厚生専門学院のカリキュラムの特

色は、看護学科においては福祉について学ぶことができ、児童福祉学科においては医療についても学べるよう、いわば医療と福祉が相互乗り入れし、医療福祉の多様なニーズに応えられるよう配慮しているという特色がある。このことは看護学科の新カリキュラムにも強く反映しており、その点も高評価に繋がったと考える。

また、「社会貢献」については、コロナ禍で学生のボランティア活動に制限があったものの、学校施設を地域に無償で貸出すことや教育訓練の受託を積極的に実施することで社会貢献ができた。さらに児童福祉学科による地域子育て貢献事業（学生及び教員が遊びを通じた子育て支援や子どもとの交流、子育て相談会）も高評価に影響したものと考える。

一方、低評価項目「財務」について、前年度に引き続き6ポイント台にとどまっており、毎年低評価項目となっている。建物、備品等の更新が進まないことが影響していると思われる。また、小項目の「中長期的に学校の財務基盤は安定しているか」が両キャンパスとも4ポイント台と極端に低く、そのことが全体評価を押し下げたものと考えている。

キャンパス別にみると、旭川キャンパスでは「教育理念・目的」が高評価（8.0ポイント）で、「財務」が6.6ポイントと低評価となった。特に旭川キャンパスは建物、備品の老朽化が顕著であるにもかかわらず、建替え、備品更新が進まないことを表していると考えられる。

吉井川キャンパスでは「社会貢献」が高評価項目で、小項目「地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか」が8.8ポイントと特に高評価となっている。これは、地域に対する公開講座「介護ワンポイントセミナー」や一般の方向け「実務者研修」「喀痰吸引研修」の実施、「職業訓練の実施（介護福祉士養成）」が評価されたものと考えられる。

低評価項目の「学生募集」と「財務」については学生募集状況の悪化が財務状況の悪化へ繋がるため強く関係している項目であるが、学生募集に関してSNSを活用した学生募集について改善点、解決策の提案がされているため、実現可能なものを検討していくことが必要である。

2) 小項目評価結果

全体として「学校の理念・目的・育成人材像は定められているか」及び「就職率の向上が図られているか」が最も高評価（ともに8.4ポイント）となった。この2項目は昨年度も8ポイント以上の高評価項目となっており、特に就職率が全学科100%の実績を誇っている影響と考える。

一方「中長期的に学校の財務基盤は安定しているか」が4.9ポイントと、9年連続最低評価項目となり、吉井川キャンパス単独では4.3ポイントと危機的な数字となった。63の小項目の中で唯一評価平均値5.5を下回っており、教職員間に危機感がある。これは長年の学院の重要課題となっているものの、なかなか改善策を見出せずにいる。

また、「予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか」（6.0ポイント）と「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」（6.4ポイント）も低評価で、財務状況が施設整備状況と密接に関係していることがうかがえる結果となった。施設設備の量的基準を満たすことのみならず、質の向上が急がれている。

(1) 教育理念・目的

評価項目	平均	旭川	吉井川
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.4	8.5	7.9
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.3	8.3	7.9
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	7.4	7.6	6.6
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	7.3	7.4	6.6
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.0	8.1	7.6

(2) 学校運営

評価項目	平均	旭川	吉井川
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.4	7.4	7.0
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.3	7.5	6.8
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	7.4	7.5	6.8
人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.5	7.4	7.9
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.5	7.5	7.3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.3	7.4	6.9
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.3	7.5	6.6
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.9	6.9	6.9

(3) 教育活動

評価項目	平均	旭川	吉井川
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.1	8.2	7.8
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	8.0	8.1	7.6
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.2	8.3	8.0
キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.6	7.7	7.4
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.5	7.7	6.6
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	7.9	8.0	7.5
授業評価の実施・評価体制はあるか	7.0	7.2	6.1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	7.2	7.4	6.4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.0	8.2	7.0
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.1	8.2	7.8
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.4	7.5	7.3
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	7.0	7.1	6.8
先端知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	6.9	6.9	6.6
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.7	6.7	6.8

(4) 教育成果

評価項目	平均	旭川	吉井川
就職率の向上が図られているか	8.4	8.3	8.6
資格取得率の向上が図られているか	8.3	8.3	8.3
退学率の低減が図られているか	7.3	7.3	7.5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	7.0	6.9	7.6
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	6.9	6.8	7.4

(5) 学生支援

評価項目	平均	旭川	吉井川
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.1	8.1	8.0
学生相談に関する体制は整備されているか	8.2	8.3	7.5
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	8.0	8.1	7.4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	7.9	8.1	7.3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	6.9	7.1	6.3
学生の生活環境への支援は行われているか	7.4	7.5	7.1
保護者と適切に連携しているか	7.8	7.9	7.5
卒業生への支援体制はあるか	7.3	7.4	7.0
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	7.3	7.4	7.1
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	7.1	7.1	6.8

(6) 教育環境

評価項目	平均	旭川	吉井川
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.4	6.2	7.3
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	7.0	6.9	7.5
防災体制は整備されているか	7.0	6.9	7.5

(7) 学生募集

評価項目	平均	旭川	吉井川
学生募集活動は、適正に行われているか	7.7	8.0	6.5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.4	7.7	6.6
学納金は妥当なものとなっているか	7.8	8.0	7.0

(8) 財務

評 価 項 目	平均	旭川	吉井川
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4.9	4.9	4.3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	6.0	5.9	6.3
財務について会計監査が適正に行われているか	7.7	7.8	7.0
財務情報公開の体制整備はできているか	7.8	7.8	7.7

(9) 法令遵守

評 価 項 目	平均	旭川	吉井川
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.2	8.3	7.8
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	7.9	8.1	7.4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	7.2	7.3	6.8
自己評価結果を公開しているか	7.9	7.9	7.9

(10) 社会貢献

評 価 項 目	平均	旭川	吉井川
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.8	7.8	7.5
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.1	8.2	7.8
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	8.0	7.8	8.8

(11) 旭川荘との連携

評 価 項 目	平均	旭川	吉井川
行事等においてお互い協力できたか	7.5	7.6	7.0
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.1	8.1
人事交流を行っているか	7.2	7.3	6.7
旭川荘への就職希望者はいるか	7.2	7.4	6.0